

ソニー班

久永祐馬・渡辺健・河村裕之・
久保埜真実・小林侑平

1. 合同ゼミまでの準備に対する感想と反省

自分たちのグループはSONY (Sony computer entertainment 以下SCEに省略) について調べた。前期のゼミ終盤から調べ始め、主に夏休みに入ってから下準備を始め、後期に入ってから、プレゼンテーションを作り始めた。

下準備の際には国立国会図書館やインターネットを利用した。そしてグループの各人が調べたデータに基づき、ゼミ合宿でそのデータをまとめた。この段階ではすでに順調にいかないところもあったが、図書館やインターネットで調べてきた内容が多かったため、それほど困らずにまとめられた。しかしゼミ合宿が終わり、後期の授業が始まってからは、出遅れてしまった。発表までの時間が長かったと思い、なかなかグループで集まらなくなり、集まっても集中して取り組めなかったことが出遅れた原因だと思う。そのため、予行演習で私たちのグループは準備が不十分で、制限時間にも収まらないし、内容も分かりづらく、最低なプレゼンテーションだった。しかし発表前日までグループの何人かのでがんだり、無事時間内に収まるようなプレゼンテーションにまで漕ぎ着けた。(文責 久永)

2. 質疑応答に関する感想、反省

合同ゼミでは、SCE と任天堂というゲーム業界のみでディベートをする予定であった。私達は任天堂とSCE の比較をメインに準備してきたのに対して、相手の任天堂はソニーのデータを使う際にSCE ではなくソニー全体のデータを使用していたり、ゲーム業界のことだけではなく任天堂の企業の最新ニュースなどを取り上げたりと、あまりにもお互いの調べていることにズレが生じていたように思う。調べていることが違いすぎて何を質問したらいいのか正直戸惑った。お互い相手が調べてなくて答えられないような質問をぶつけ合ってるように感じた。

質問の内容としては、「PS3 の価格をどこまで下げれば任天堂と競えるのか?」「PS3 の値段が下がるのに原油高が上がるから資源は確保できるのか?」「技術革新だけで PS3 は安く売れるのか?」でした。最初の質問に対する返答は「過去の傾向から、価格が2年以内には下げられ、十分競えるようになると考えている。」でした。そして2つ目の質問に対しては、資源の確保についてまで調べていなかったのもあり、妥当な返答はできませんでした。最後の質問に対しては、技術革新だけでPS3 の低価格設定ができると自信をもって答えました。(文責 久保埜)

3. 合同ゼミを終えての感想と反省

今回ゼミのプレゼンテーションを通して、私たち藤井ゼミはまず協力することの大切さを痛感しました。発表は予想以上にうまくできたのではないかと思います。ただ、もっとチーム全員がより積極的に取り組んでいれば、レポートの内容や出来具合も変わってきたのではないだろうか。他のグループのプレゼンテーションを聞いていても、全員が一丸となって発表しているところとそうでないところの差が大きかったように感じた。今回プレゼンテーションを行い、自分たちの悪いところを見つけられたので、この教訓を生かし、来年度のゼミに取り入れていきたい。(文責 河村)